

News Release

<報道関係各位>

ピジョン株式会社
2017年8月1日

“夫婦で母乳育児”が、育児における一体感を高めるきっかけに！

“授乳の体験がパパを変える。”

WEB 動画「パパチチしよう。VOL.2」が 8 月 1 日(火)より公開！

特設サイト URL : <https://pigeon.info/bonyu/papachichi/>



ピジョン株式会社（本社：東京、社長：山下茂）は、「世界母乳育児週間※1」が始まる 2017 年 8 月 1 日(火)より、『パパチチしよう。VOL.2』動画を公開いたします。

■「パパチチしよう。」動画概要

ピジョンは、「パパが赤ちゃんに授乳する」ことを「パパチチ」と名付けて、様々な育児スタイルの一つの選択肢として提唱しています。パパが授乳という育児を体験することをきっかけに、先進国の中でも育児参加が少ない日本の父親（※2）の、育児に対する意識が自然に変わっていくことを願っての考えです。

『パパチチしよう。VOL.2』は、初めての育児に戸惑うママを見て、同じくどう育児に関わればいいのか悩んでいたパパが、赤ちゃんの授乳から育児に関わることを決意するシーンから始まります。このことがきっかけで、自然に育児全般に積極的になっていき、パパが変わることで、ママにも気持ちに余裕が生まれ、ママ・パパ共に育児に対する意識や心の持ち方が変わっていく様子を描いています。

“パパチチ”をすることで育児における夫婦の一体感を高められることが、ピジョン実施の調査結果（※3）からも分かりました。授乳中のお子さまを持つご夫婦に実施した調査では以下 2 つの結果が得られました。

- ▶ **パパチチは夫婦間の育児に関するコミュニケーションに良い影響を与える**
- ▶ **パパチチを日常的にしているパパほど育児全般が出来ていると感じるママが多い**

本動画を見ていただくことで、パパが育児に積極的になったり、夫婦間で育児への一体感が高まったりするきっかけになれば、と願っています。

■報道関係各位からの問い合わせ先：『パパチチしよう。』 PR 事務局(マテリアル内)

TEL:03-5459-5490/FAX:03-5459-5491/MAIL:1g@materialpr.jp 担当:房 070-3621-8685/竹中 080-9813-9775

■商品についての問い合わせ先：お客様相談室 TEL:0120-741-887 URL : <https://pigeon.info/>

■『パパチしよう。VOL.2』 動画詳細

【タイトル】『パパチしよう。VOL.2』

【映像尺】3分 56秒 【公開開始】8月1日(火) 11:00

【特設サイト】 <https://pigeon.info/bonyu/papachichi/>

【YouTube】 <https://www.youtube.com/watch?v=bucUbuAMdnI>

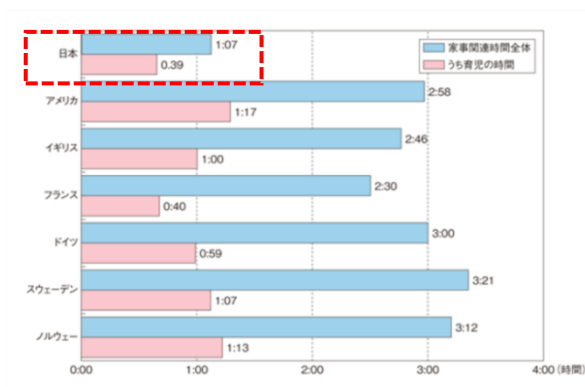
※ピジョンは、ママが直接おっぱいをあげられない時に、さく乳器を活用し、保存した母乳を赤ちゃんにあげることを推奨しています。

※様々な育児スタイルの一つの選択肢として、「パパチすること」を提唱しています。

※1 世界母乳育児週間とは

世界保健機関(WHO)と国際連合児童基金(UNICEF)は8月1日～8月7日を「世界母乳育児週間」と決めました。1990年から始まった世界母乳育児週間は、毎年、世界170カ国以上で母乳育児の促進と乳児の栄養改善を目指した取り組みが行われています。

※2 父親の家事・育児に対する参加状況



-先進国の中でも圧倒的に家事の時間が少ない現状（※他の国に比べ、家事関連時間の参加は半分以下）

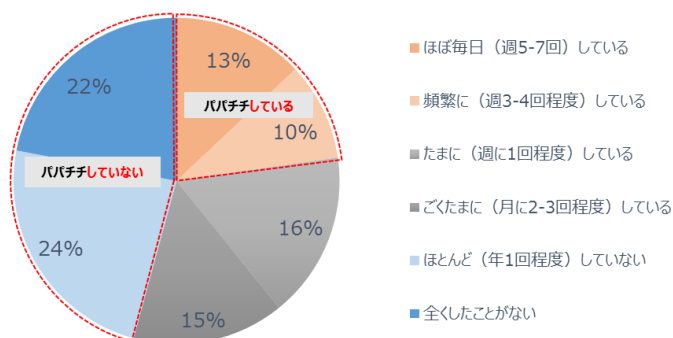
-うち育児に関わる時間は39分と調査対象国7カ国中ワースト

参照：Eurostat “How Europeans Spend Their Time Everyday Life of Women and Men”（2004）、Bureau of Labor Statistics of the U.S. “American Time Use Survey”（2013）及び 総務省「社会生活基本調査」（平成23年）より

※3 授乳と育児に関する実態調査

Q1. 現在、パパもお子さまへの授乳をしていますか？

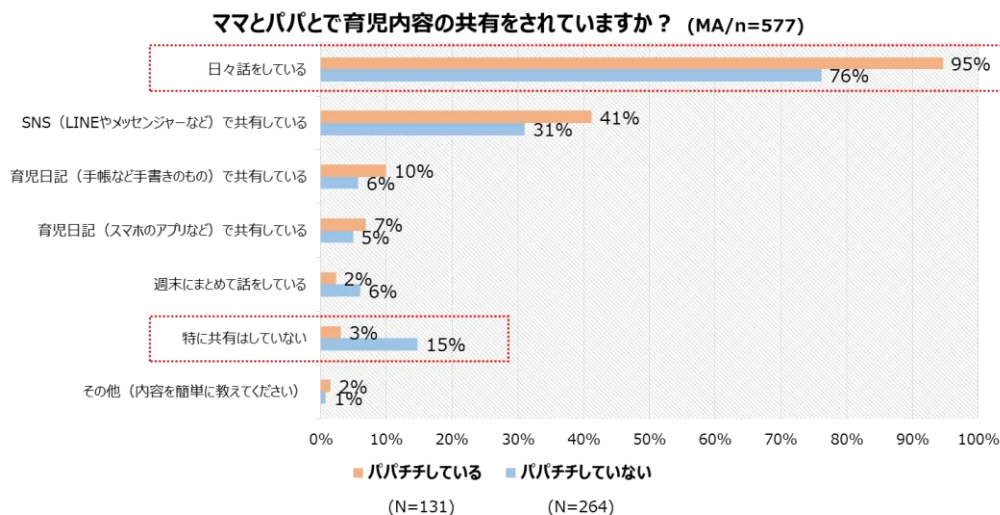
現在、パパもお子さまへの授乳をしていますか？



現在、授乳期のお子さまを持つ577人を対象に、パパの授乳事情について質問しました。パパが日常的に授乳している(週3回以上)と回答した家庭は23%(131人)。そして“全く行っていない”や“ほとんど行っていない”と答えた家庭は46%(264人)を占めていました。

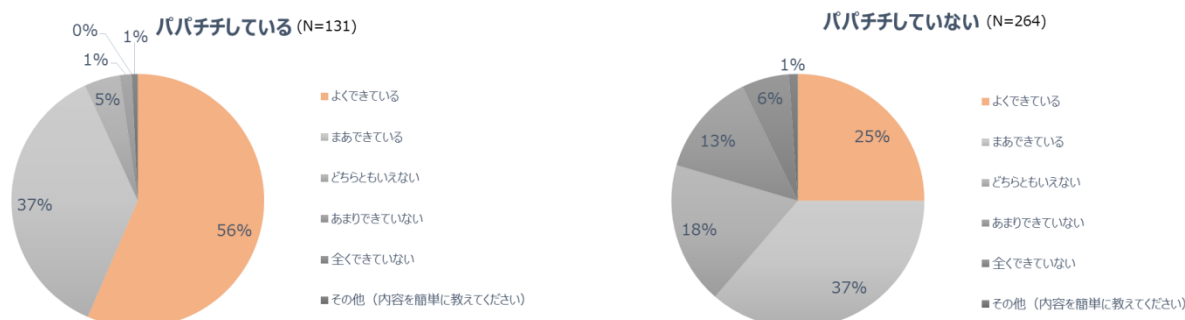
以下の設問項目では、パパが日常的に授乳していると答えた集団(n=131)を「パパチしている」と表記し、ほぼ行っていないと答えた集団(n=264)は「パパチしていない」と表記しています。

Q2. ママとパパとで育児内容の共有をされていますか？ (n=577)



「ママとパパとで育児内容の共有をしているか」という質問項目については、パパチチしている家庭では 95%が「日々話している」と回答したのに対し、パパチチしていない家庭では 76%が「日々話している」と回答しました。「特に共有していない」と答えた割合も、パパチチしている家庭が 3%に対し、パパチチしていない家庭では 15%と、パパチチすることは、夫婦間の育児に関するコミュニケーションにも良い影響を与えることが分かります。

Q3. パパは、ママから見て育児ができていると感じますか？ (n=577)



パパチチしている家庭の 56.0%が「パパは育児ができている」と回答した一方、パパチチしていないと答えた人の中で「パパは育児ができている」と答えたのは 25%のみ。この結果から、日ごろパパチチすることが、パパの積極的な育児参加のきっかけになりうると考えられます。

【調査概要】

調査目的：授乳と育児に関する実態調査

調査方法：WEB アンケート調査 ※ビジョンホームページ・ビジョン Facebook ページにてサンプル募集

調査対象：夫婦が同居している授乳中（母乳やミルクをあげている）の男女

有効回答数：577 名

調査期間：2017 年 6 月 30 日～ 2017 年 7 月 10 日

▼ストーリーボード①



手作りの育児日記の表紙。
赤ちゃんをイメージした
イラストが貼られている。



初めての育児と
授乳の大変さに悩む母親。

母T：授乳って思っていたより大変…



帰宅した父親に
思わずあたってしまう。



父親も同じく、
どう協力すればいいかわからず
悩んでおり、気まずい雰囲気になる。



独りさびしく
育児日記を書いている母親。



父親にあたってしまったことを
書きとめている。



気持ちのすれ違いで口論になったことを
後悔している母親。

母T：言い方キツかったかな…



気まずい思いをした父親も、
自分も育児で協力できることはないかと
探している。



「パパチャリしよう。」の動画を発見し、
授乳から育児に関わることを決意する。



翌朝、テーブルの上に置かれた
育児日記を見つける母親。



ふせんに書かれていたのは、
「俺も授乳してみようか？」
という父親からの提案だった。



思いがけない提案に驚きながらも
嬉しそうにさく乳する母親。

母T：正直、すごい嬉しかった。



さく乳した母乳で、
初めての授乳をする父親。



慣れない手つきに
手を出しそうになるが、
あえて見守る母親。



その時の気持ちを日記に書き、
父親も日記を書くよう提案する。

母T：直接書いていーよ



こうして夫婦の「育児交換日記」が
スタートする。

父T：はい



育児に積極的に関わるように
なってきた父親。



その嬉しい気持ちを
日記に書きとめる母親。

母T：ありがとう



日記を通じて育児情報を
共有するようになる夫婦。

母T：（哺乳びんは）洗って除菌、ね！



母親の気分転換にと
友達とランチへ行くことを勧め、
その間育児を交代することにした父親。

▼ストーリーボード②



なかなか泣き止まない赤ちゃん。
慣れない長時間の育児に四苦八苦する。



日記では、心配させないように
少し見栄を張る父親。

父T：なんの問題もなかったよ



育児の大変さを実感することで
母親への思いやりも芽生え始める。

父T：たまには羽を伸ばしてください



無くなったおむつを買ってきた
エピソードを日記に書きとめる父親。



その前向きな行動に喜ぶ母親。

母T：買ってきてくれるなんて感動



日記を通じ、育児情報を共有する夫婦。

父T：一回出直したんだ

母T：これからもよろしくお願いします



飲み会を減らしてまでも、
希望のベビーカーを購入してもらうべく
熱心に説得をする父親。



父親の育児に対する意識が
目に見えて変化しつつある。

父T：頑張ります！！



夫婦の育児交換日記は、
すでに日常的なものとなっている。



夜中に起きて授乳をする父親。



産後初めて6時間連続で睡眠がとれ、
喜びを囁みしめる母親。



育児が楽しくなっている父親。

父T：最近授乳するの楽しくなってきた



購入したベビーカーで
公園へと出かける家族3人。



育児における父親との一体感を感じ、
外出も楽しくなっている母親。



父親が育児に積極的になることで、

T：パパが変われば



母親も気持ちに余裕が生まれている。

T：ママも変わる。



授乳の体験がパパを変える。



N & T：パパチチしよう。



「育児交換日記」の表紙に、
父親をイメージしたイラストが
新たに貼られている。

pigeon

B.I